

# H O YOG

## 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
[編集] 兵庫教区広報部

2013. 7 190号

発行所

### 教区仏婦が一堂に

### ―仏婦連盟大会開催―

『平成二十五年度兵庫教区仏婦人会連盟大会』が、三田市郷の音ホールを会場に、九百八名の参加の中、盛大に開催された。

本大会は、教区仏婦会員全てを対象として、一人ひとりが行動ある聞法者として、共々に聞法し、み法の友の輪をひろげていくことを目的に開催さ

れるもので、テーマを『念仏に生かされるよろこびを行動へ』(現生正定聚)として開催されている。開会式では、音楽礼拝が行われ、教区連盟旗入

場に続いて、献灯・献華の後、敬礼文・三帰依・さんだんのうた・念仏がお勤めされ、参加者全員で、仏教婦人会綱領が唱和された。



楽しくご指導頂きました(野村師)



穏やかな語り口の花岡師

続いて、教務所長挨拶  
前田厚子氏(教区仏婦連盟委員長) 挨拶、横山昭仁師(北摂組組長・元沼寺)より祝辞をいただき、真宗宗歌の斉唱にて開会、その後、総会の運びとなった。

総会の後は、讃歌指導として、野村佳代師(得度習礼・教師教修所講師・北摂組光圓寺)より「聖夜」「やさしさにであつたら」「もろてあわせて」の三曲の指導が行われた。

休憩を挟んだ後、記念講演には花岡静人師(仏婦総連盟講師・奈良教区吉野東組勝光寺)より、「念仏に生かされるよろこびを行動へ」と講題に、「如来さまのご本願」とは何かということを中心に講演を頂戴した。

講演の後、閉会式では、内田輝美氏(教区仏婦連盟副委員長)の挨拶の後、恩徳讃の斉唱で閉会となった。

また、本大会ではダイナ献金も募られ、寄せられた献金額は二十四万四千二百七十円となった。



数年前の朝日新聞に十一歳の女の子が投稿した記事

が載っていました◆ある日の授業中、先生から「人生の中で最後に食べたいものはなんですか」という質問が出たそうです。クラスの友達はお肉やまぐろと答える中、女の子はお母さんがにぎってくれたおにぎりがと答えたのです◆その事をお母さんに言うとお母さんも幼少の頃、両親が忙しく孤独を感じていた時に兄がにぎってくれたおにぎりが忘れられないと答えたのでした。女の子は、「簡単そうなおにぎりにも、おもいがつまり、いつまでも残るのだと思いましたが」と自分の思いを締めくくっていました◆この簡単そうなたった一個のおにぎりを食べるという事は、お母さんやお兄さん、そしてお米を作る人達の計り知れない多くの思いを頂くという事なのです。その様々な思いに私は生かされているのだとこの記事を読んで改めて思いました。

神戸東組専念寺 佐々木正法

# 『蓮華会』 祝賀の集い

— 200名が参加 —



様々な具体例をお聞かせ頂いた(炭谷氏)

めとし、教区内の様々な団体・活動に対し、積極的に物心両面から継続的な支援を行っている。

本祝賀の集いは、教区における平成二十四年度就任の新任職を主な対象に行われ、記念講演・アトラクションと、懇親会の二部構成にて開催。前半の記念

講演・アトラクションは、神戸別院本堂を会場に執り行われた。開会式では、教務所長挨拶の後、那波正文参与々々長(揖龍西組徳行寺)の挨拶、来賓を代表して豊原大成師(教区宗会議員・阪神西組西福寺)、坂本三郎氏(部落解放同盟兵庫県連合会委員長)より祝辞を頂き、続いて平成二十四年度就任の新任職の紹介にて開会。

開会式に続いての記念講演には、炭谷茂氏(恩賜財団済生会理事長・元環境省環境事務次官)より『日本社会の底辺にうごめく問題を解決する「福祉と人権」』と題し、行政での経験を活かした様々な活動や、その活動理念、日本において解決されていない多くの社会問題や人権問題、その問題解決へ向けた具体的な施策など、多岐に渡った内容での講演を頂戴した。

別院での集いの後は、会場を神戸メリケンパークオリエンタルホテルに移して懇親会が開かれ、多田満之師(蓮華会相談役・赤穂北組西光寺)の祝辞、中尾教雄師(蓮華会名誉会員・氷上西組西光寺)、谷川英美子師(蓮華会副会長・阪神西組万徳寺)の挨拶・乾杯の発声にて懇親会が開会。間には、新たに就任の

七月五日、神戸別院・神戸メリケンパークオリエンタルホテルを会場に、『兵庫教区参与会「蓮華会」祝賀の集い』が開催された。

二胡の演奏が行われ、二胡の幽玄な響きに包まれた中でのリサイタルとなった。



二胡の優美な音色が響いた(姜氏)

新任職へ感想や抱負を頂く一言インタビューや、教区コーラスグループ『アプサラス』によるコーラスの披露、姜曉艶氏と本祝賀の集いで司会をいただいた、ありす未来氏(元宝塚歌劇団星組)との二胡演奏と歌の披露などが行われ、賑々しい雰囲気の中で懇親会は進行。最後は大西耕雲師(蓮華会常任理事・宍粟組教専寺)の閉会の挨拶にて集いは終了した。

蓮華会では、会の趣旨

- 【敬称略・行政順】
- ◆後藤善史(阪神北組勝福寺)◆松岡文昭(神戸東組善立寺)◆森本康裕(神戸中組光徳寺)◆和仁章隆(神戸中組教秀寺)◆橋本博水(神戸湊組教蓮寺)
  - ◆石井弘宣(神戸西組蓮生寺)◆藤田真成(神明組覚正寺)◆山本宣子(淡路組萬行寺)◆兼松泰照(高砂組西立寺)◆教山雅裕(神崎組安楽寺)◆天野晃順(姫路中組順正寺)◆望月孝昭(姫路中組安楽寺)
  - ◆浅野界雄(姫路西組万丈寺)◆布施真一(網干組西照寺)◆田寺淑明(網干組常行寺)◆檀特教法(揖龍東組清光寺)◆那波淳城(揖龍西組徳行寺)◆富賀見智明(新宮組明専寺)
  - ◆赤松隆志(赤穂北組圓立寺)◆小倉畑祐貴(朝来組圓了寺)◆水田照代(養父組永照寺)◆樋田稔(出石組眞覺寺)◆森亜裕美(岡山北組法眼寺)

# 連研修了を記念して

## 第十七期連研修了者大会

六月二十三日、神戸別院一階ホールを会場に『兵庫教区第十七期連研修了者大会』が開催された。

本大会は、兵庫教区各組にて門信徒を対象に行われている連統研修会（連研）の修了者を対象に、二年に一度開催される大会である。

今年には教区内十九組の連研修了者、二百十六名が参加、引率の住職・寺族・門徒推進員など、各組連研スタッフを含める

と、総勢二百六十九名が参加しての大会となった。大会は、教務所長挨拶の後、来賓の組長を代表して藤榮行信組長（淡路組組長・宣徳寺）より挨拶を頂いて開会。

続いての記念講演では、石崎博毅師（大阪教区天野南組大円寺・連研中央講師）より、『そとつながらる ホッがつたわる』と題して講演頂いた。

講演の後、昼食休憩の時間には教区門徒推進員スタッフの手伝いにより、本願寺出版社の書籍販売が行われ好評を博した。

昼食休憩の後、申込者を対象として、別院三階の本堂を会場に帰敬式が行われ、新たに五十八名が仏弟子としての名告り『法名』を拝受された。

また、帰敬式と並行して一階ホールでは『中央教修のすすめ』のDVD鑑賞が行われ、続いて講師の石崎師より『東日本大震災のボランティア活動』についてスライドを交えながらのお話を頂戴した。



58名の仏弟子が誕生されました

また、

帰敬式と並行して一階ホールでは『中央教修のすすめ』のDVD鑑賞が行われ、続いて講師の石崎師より『東日本大震災のボランティア活動』についてスライドを交えながらのお話を頂戴した。

震災支援活動についてのお話の後、東日本大震災への募金活動も行われ、計十万三千四百十二円の募金が寄せられた。（集まった募金は石崎師が代表を務める『震災支援を続ける会』へ全額送金致しました）

最後に参加者を代表して北田隆氏（阪神西組金衆寺門徒）が決意表明をご尊前に向かって述べ、盛会の内に大会は終了となった。

### 正定聚とは

布教団研修会

六月六日、別院にて教区布教団員の研鑽を目的として『兵庫教区布教団研修会』が行われた。

研修会では、最初に『宗門の実践運動について』と題して坂原英見師（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）より、宗派の掲げる実践運動の理念・目標などについての講義を頂戴した。

続いて、記念講演として、浅田恵真師（龍谷大学教授・本願寺派勧学）を講師にお招きして『現生正定聚』を講義に講演した。

講演では浅田師の専門である天台教学を中心に話が行われ、スライドを用いて比叡山の行者の修行の紹介やその意義についての話、天台宗における正定聚のあり方、位置づけについて講義を頂いた。



天台における正定聚（浅田師）

### 組長・副組長等合同研修会

六月二十七日、教区組長・副組長等を対象に研修会が開催された。

研修会では、友久久雄師（京大病院医師・龍谷



仏教カウンセリングとは（友久師）

大学教授）を講師に『仏教カウンセリング・生きかた死にかた』と題して、カウンセリングの過程・実際やカウンセリングと仏教の関係性などについてお話いただいた。

続いての協議会では、今年度の教区教化活動や事務手続き、教務所・別院の体制に関する説明などが行われた。（四面に

# 教区だより 7月・8月

## 7月

20(土)	勤式練習所	13:00
21(日)	仏壯連盟阪神・神戸ブロック研修会	
22(月)	護持口数調整に関する検討委員会 ①号委員会	14:00
〃	ビハーラ研修会	13:30
23(火)	寺婦運営委員会	10:30
〃	少年連盟50周年記念 サマースクール (25日まで) 鹿児島	
24(水)	近畿仏婦実行委員会	
25(木)	仏婦コーラス練習会	10:30
26(金)	寺婦アップサラス練習会	13:30
27(土)	勤式練習所	13:00
28(日)	中仏同窓会	
〃	第29回若婦人のつどい	
30(火)	近同推第53回総会・研修会	伝道本部 13:00

## 8月

1(木)	神戸別院暁天講座 (光森常之師 阪神西組)	7:00
2(金)	神戸別院暁天講座 (森田直道師 播磨東組)	7:00
3(土)	神戸別院暁天講座 (山西昭義師 神戸湊組)	7:00
〃	門推の日	10:00
〃	勤式練習所	13:00
〃	神戸別院第一土曜仏教講座 (道元徹心師 神姫組)	13:30
〃	仏青・寺院子弟仏教基礎講習会 姫路中組法性寺	14:00
8(木)	仏婦コーラス練習会	10:30
15(木)	神戸別院孟蘭盆会 (神戸別院輪番)	13:30
24(土)	第3連区寺院仏壯結成にむけた研修会 大阪教区担当	
28(水)	第3連区布教使研修会 (29日まで)	
29(木)	仏婦コーラス練習会	10:30
〃	勧学寮真宗講座 (30日まで)	13:00

## 教務所の勤務体制が変わります

宗派の勤務体制に準じて、兵庫教区教務所の勤務体制を、本年十月一日より次の通り変更致します。変更を予定しております。

### 【開所日】

月曜日から金曜日(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)※別院の勤務体制は、従来通りです。(死亡

亡扱い・行事等についてのお問い合わせにつきましては、開所日に関係なく対応しております)

### 【事務受付時間】

九時～十七時まで

### 【駐車場】

◆利用可能時間：六時三十分から十七時四十五分(十八時閉門)※但し、別院行事・研修会等により閉門時間が延長になることがあります◆教務所にご用のある方、または神戸別院にご参拝の方のみ利用可◆収容台数約五十台

## リーフレット「おぼん」受付中



年三回発行のリーフレット「法」シリーズ。今回のおぼん号は、杉本照顕師(阪神東組最光寺)にご執筆いただきました。一部二十円(送料実費)にて販売しております。また、百部以上ご注文の場合は寺号を無料で印刷致します。教務所まで、電話・FAXにてご注文ください。

## 『保育のこころえ』出版

(二千五百円・税込)

「保育のこころえ」を知っておきたい子どもとわたしの危機管理」(牧野桂一著/兵庫教区保育連盟編集/エイデル研究所発行)が出版。時代に即した「危機管理マニュアル」を収めた、保育の現場における総合的なリスキマネジメントマニュアル集。お申込みは教務所まで。



## 敬 弔

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

- 村上隆進(赤穂南組真光寺前住職) 平成二十五年五月二十二日九十四歳
- 九折光子(揖龍西組正専寺前坊守) 平成二十五年五月三十日八十九歳
- 四茂野千恵子(神戸東組光圓寺前坊守) 平成二十五年六月二十五日八十七歳
- 藤本多美(新宮組金照寺前坊守) 平成二十五年六月二十六日百一歳

## 夏季休暇のお知らせ

八月十六日(金)から二十日(火)までの五日間、教務所・神戸別院の事務等をお休みさせていただきます。尚、夏季休暇期間中は、宿・日直体制をとっておりますので、葬儀等緊急の場合はご連絡ください。【教務所・別院】☎：〇七八(三四)五九九九

七月六日現在【敬称略】